

# ブダペストの日本庭園

ブダペストの中にも様々な『日本』がある。その1つはブダペスト都内にある、それほど知られてない3つの日本庭園。

## ① ヴァルガ・マールトン 園芸・測量専門学校の日本庭園

Varga Márton Kertészeti és Földmérési Szakképző Iskola

Mogyoródi út 56-60. Budapest 1149



ブダペストの東側の14地区にある日本庭園がハンガリーで造られた最初の日本庭園である。1928年に「園芸・測量専門学校」の設立者ヴァルガ・マールトンによって設計、建造された庭園である。1931年に当時日本の皇族の高松宮宣仁親王（たかまつのみやの

ぶひとしんのう）と妃の宣仁親王妃喜久子（のぶひとしんのうひ きくこ）が見学にいっしょに、植物などの寄付をされたと言われている。

同園は第二次世界大戦において大きな被害を受けたが、1950~60年代に復元・改修され、さらに70年代には敷地が拡張される。そのため、現在の風景は建造の頃に比べて大きく異なっている。

現在の池を中心とした庭園には、石橋や石灯籠、踏み石などの典型的な日本庭園の特徴が見られる。学校の設立以来、先生や学生が一本一本植物を集めて植え、大



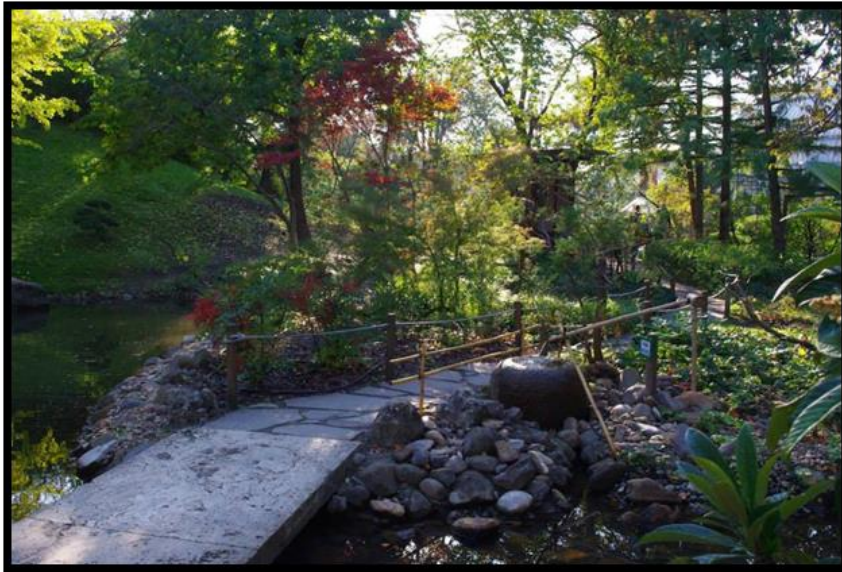
切に育ててきた。そのおかげで、現在の庭園は、面白みや珍しさのある植物類に満ちた、豊かな庭園になっている。ここで見られる植物の例をいくつか挙げると、シダレエンジュ、モミジ、ヤエザクラ、コブシ、イチヨウ、ボタン、スイレンなどがある。



② ブダペスト動物園の日本庭園

Fővárosi Állat- és Növénykert

Budapest, Állatkerti krt. 6-12, 1146



2番目の日本庭園は、1963年ブダペスト動物園内に造られた庭園である。1998年から2000年の間に杉村文夫とビーロー・タマーシュの設計により改造された。植物類が増え、日本庭園の特徴である築山や庭石、ししおどしが新たに加えられるなど、様々な手入れや

改修が行われた。見所は園内の特別なパビリオンに展示されている盆栽コレクションである。コレクションのベースは、愛知県の「日本ハンガリー友好協会」から寄付された盆栽25鉢であるが、それにハンガリー人収集家の盆栽も付け加えられ、共に展示されている。盆栽が置かれているパビリオンは竹林をイメージして造られた。





### ③ マルギット島の日本庭園

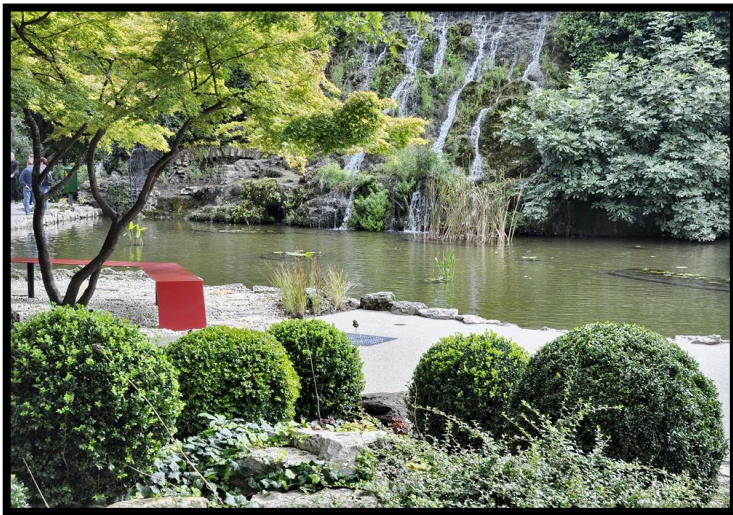
Margitszigeti japánkert

1138 Budapest, Margitsziget, Hajós Alfréd sétány



ブダペストの3番目の日本庭園はマルギット島の北側にある。この庭園は1970年に造られ、1992年に改造、2014年に再改造が行われた。

中心にある池泉や、その隣にある崖から流れる滝が同園の見所である。植物は池泉に浮かぶスイレンをはじめ、色鮮やかな牡丹、アジサイや丸く剪定されたツゲなどがある。日本庭園特有の石灯籠、踏み石、太鼓橋やししおどしなどがこの庭園にも見られる。池の中に置かれている銅像がこの日本庭園の特徴であり、和風と洋風の交じり合いが独特である。



リンク：

<http://www.szeretlekmagyarorszag.hu/3-gyonyoru-japankert-budapesten/>

<http://terebess.hu/kert/japankert.html>

<http://www.vmszki.hu/vmszki/iskolank/japankert>

<http://tajepiteszek.hu/megujult-a-margitszigeti-japankert>